

平成29年4月1日

第35号

長尾福祉会報



—長尾福祉会理念—

障害をもっていても もっていなくても 男も女も

「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

ごあいさつ

社会福祉法人長尾福祉会 常務理事 森田 浩之

社会福祉法人長尾福祉会では、障害者支援のための施設を平成8年に開設したのを最初に今日まで老人福祉サービスとの両輪で地域福祉の充実のため事業を行ってきました。

この度も、昨今の待機児童問題対策として高松市花園町3丁目にて平成30年4月開園を目指し整備に着手いたしました。このことにより長尾福祉会は児童から高齢者まで、すべての世代においてサポートできる体制が整う予定です。

現在、国では、「ニッポン一億総活躍プラン」にもとづき、子ども・障害者・高齢者などすべての人々が生きがいを持って生活できる「地域共生社会」の実現をめざしています。

我々社会福祉法人ができるることはほんの一部かと思いますが、地域住民が生活に応じた福祉制度とサービスを有効活用できるよう、行政や関係機関との連携づくりに努めてまいりたいと思います。



特別養護老人ホームゆたか荘 施設長 朝倉 裕子

ご利用者に 心豊かな生活を



障害者支援施設 のぞみ園 園長 岡 慎也

変わりゆく制度の中で

桜の花が咲くになると、ゆたか荘では外出の機会が増えていきます。桜、菖蒲、芝桜、菊など、ドライフラワーも兼ねて花々を巡り季節の移り変わりを楽しめたり、地域の春市や運動会、ショッピングなど、地域に出て懐かしい場所、懐かしい人と会う事でご利用者も元気をもりつけています。また、ゆたか荘の周りには豊かな自然があり、皆さん時期が来れば筍の皮をむき、土筆や空豆のそじをしながら穏やかな時間を過ごされています。いつまでも心豊かで楽しい時間を過ごして頂けるよう、ご利用者の小さな声にしっかりと耳を傾け、「長生きして良かった」「ゆたか荘で良かった」と言って頂けるご支援を心がけていきたいと思います。

先日、全国老人施設協議会の調査報告書の中で、特別養護老人ホームの収支差率は過去最低の3.0%、赤字施設は過去最大の3割超という厳しい状況が報告されました。このような厳しい状況の中、ご利用者の生活と職員の生活を守つていかなければなりません。平成30年度の介護報酬の改定がどのように進むか、目が離せない1年になります。

また、社会福祉法人の使命である地域福祉の拠点としての役割も忘れないことなく、地域にも目を向け、福祉の啓発活動と共に、地域を良くする活動も継続して参ります。このようにして、地域を良くする活動も継続して参ります。

春たけなわ、花の香りあふれる季節となりました。皆様においではますますご健勝のことと存じます。

昨年は無事20周年を迎えることができました。これまで支えて頂いたすべての皆様の格別のご理解とご協力賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

「総合福祉法」へと目まぐるしく変わってきました。また、社会福祉法も一部改正が実施され、社会福祉法人のありかたを問われる時代となりました。また、のぞみ園も20年という節目を過ぎ、利用者の高齢化、ニーズの多様化とともに、あらゆる面で変革期を迎えております。この変革期の中で施設の現状、時代の流れ、制度改革の動向などをしっかりと見極めながら皆様とともに前へ進んでいきたいと思います。しかし、変わりゆく制度の中で変わらずに大切にしたいものもあります。「利用者に寄り添った支援」、「利用者ニーズを反映した支援」など、今後も変わらずに継続していくとともに、支援スキルの向上へも取り組んでいきたいと思っています。

本年も利用者の皆様が安心して生活できる場・充実した活動ができる場となるよう職員一同、より良いサービスの提供に努めてまいります。今後とも引き続きご高配賜りますようよろしくお願い致します。

ゆたか荘 基本方針

- 1、職員の介護技術の向上に常に取り組み、ご利用者、ご家族にとって安心・安全な介護を行います。
- 2、家庭的な雰囲気を大切にしながら、心のこもった介護を行います。
- 3、ご利用者の尊厳とプライバシーを守ります。

モットー

人生ゆたかに 老後ゆたかに
長寿を支える

行動目標

- 1、利用者本位のサービス提供
- 2、地域との交流と連携
- 3、安全管理とリスクマネジメント
- 4、災害対策の点検と充実
- 5、魅力ある職場づくり

平成29年度の目標と課題

目標

- ・利用者の意志及び人格の尊重
- ・利用者の立場に立った障がい福祉サービスの提供
- ・就労支援への取り組み
- ・障がい児支援の強化
- ・相談支援事業の充実

課題

- ・グループホームの充実した運営
- ・高齢利用者対応の検討
- ・障害児通所支援事業の検討
- ・発達障害相談支援事業の充実
- ・リスクマネジメントの徹底
- ・安心、安全な生活環境作りと整備

高齢者複合施設
ハーティヴィラ
亀鶴



笑って豆まき「福はうち！」

デイサービスセンター

ケアスタッフ

夏田 洋子

寒さも峠を越え、日差しの変化や徐々に日が長くなるのを感じてきました。暖かい地方では、桜の花が咲き始めています。

今年も、2月3日に恒例の「節分の豆まき」を行いました。その日の昼食のメニューは巻き寿司で、利用者様もとても美味しそうに召し上がっていました。午後からは、待ちに待ったデイサービス職員と在宅サービス担当職員による寸劇が幕を開き、会場が「大爆笑」の渦に包まれました。初めての寸劇披露ということで緊張や不安もありましたが、慌ただしい業務のなか、少しでも喜んでいただけたように一生懸命頑張った甲斐があり、会場いっぱいに利用者様の笑顔が咲き誇りました。その後、じゃんけんゲームで盛り上がり、最後は鬼に扮装した職員めがけて「鬼は外！福は内！」と豆まきを楽しみました。しっかりと身体を動かし、しっかりと大きな声を出し、そして何よりしっかりと笑って節分行事を終えることが出来、職員一同大変うれしく思っています。

これからも私たち職員は、利用者様が楽しい時間を過ごせるよう努力していきます。今後共、どうぞよろしくお願いいたします。



笑顔のおすそわけ

ヘルパーステーション

ケアスタッフ

寺島 理香

私たち訪問介護員は、利用者様が住み慣れたご自宅で、自分らしい生活を過ごすためのお手伝いをさせていただいています。夕食後、「今日も一日無事に過ごせたよ」と、布団にくるまつた利用者様の幸せそうな笑顔に、私たちも幸せのお裾分けをいただいているなあと、実感しています。

ご自宅で過ごすことに不安のある方、いつでもお相談ください。よい良い生活を送るためにアイデアを、一緒に考えていきたいと思います。

ケアプランセンターゆたか

ゆたかな暮らしのために

センター長 鎌倉 節子

平成28年度より介護支援専門員が2名増え、男性職員1名、女性職員5名、計6人態勢になっています。

介護職・医療職を経験した、介護支援専門員が利用者様・家族様に寄り添いより良い生活が送れるよう、相談業務を行っています。
気になる事、介護について、お気軽にお相談ください。

ゆたか荘

バス遠足

介護職員 篠 香里

平成28年10月15日に、ご利用者・ご家族・職員の総勢50名で、「倉敷アイビースクエア」へ食事と観光を楽しみに出掛けました。

当日は天候にも恵まれ、瀬戸大橋から見える景色に「海が綺麗」「良い眺め」などと口々に話をされ喜ばれました。

倉敷アイビースクエアでは、担当職員が下見に行き、担当の方と入念な相談がなされました。

「おごちそう」が出され、目と舌で楽しみ、いつもとは違った笑顔が見られ、お腹も心も満たすことが出来ました。その後は、オルゴール館を訪れ、100年物のオルゴールの音色を楽しめたり、美観地区で観光やお土産を選びに行かれ、一緒に参加されたご家族との時間を大切に過ごされていました。

今回、一緒に遠足に参加させて頂き、ご家族とバスの中や食事の席などで、ご利用者の昔話や思い出話を聞くことができ、ご利用者とのコミュニケーションや笑顔を引き出す話題を知ることが出来ました。今後更に、より良い関係を築いていくために役に立っていきたいと思いました。



開荘記念日を迎えて

介護職員 内原 宏子

日頃よりご利用者・ご家族・地域・関係機関等の皆様のご理解、ご協力を頂くことで、ゆたか荘は開荘17周年を迎えることができ、ありがとうございます。

このめでたい記念の日を迎え、赤飯やお刺身などで祝膳を目で、舌で楽しみ、そして祝宴として「さぬき民俗芸能保存会様」のご協力を得て盛大に記念行事を開催することができました。祝宴では、銭太鼓や傘踊り、そして代表の宮脇様のMCや合いの手が会場を一層盛り上げ、記念日に華を添えて頂きました。

これからも、ゆたか荘がご利用者にとって安心できる生活の場所となるよう努めてまいりたいと思います。今後も、引き続き皆様方のご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



節分豆まき

介護職員 阿部 純

2月3日、恒例の節分行事を行いました。

節分で、思い浮かぶのが「恵方巻」。ゆたか荘でも昼食に恵方巻に因んで巻き寿司をご利用者・職員と一緒に食べ、「今年の向きは北北西のちょっと右なんやつて」等の話し声や笑い声が聴かれ、皆様喜ばれています。

午後からは、普段の穂やかな生活からは想像できないですが、毎年この日だけ顔を見せる鬼が登場。鬼の迫力にご利用者の皆様は驚かれ、鬼に向かって思いつきり豆を投げつけ退治するなど、豆まきも楽しむことが出来ました。(笑)

今年一年の邪気払いも出来たと思います。ご利用者の皆様が健康で、穏やかな生活が送れるように携わつて行きたいと思ひます。

ひな祭り会

介護職員 宮本まゆみ

3月3日にひなまつり会を開催いたしました。祝い膳として昼食には、ちらし寿司、あさりの味噌汁、含め煮、黄桃のデザートが提供され、ご利用者と職員がともに、会話を楽しみつつ美味しくいただきました。

その後は、ご利用者一人ひとり雛飾りと記念撮影を行いましたが、カメラを向けると緊張された表情をされる方や、すまし顔の方、笑顔の方と、皆さま個性的で素敵な表情が伺えていました。また、ひなまつりの唄を大きな声で歌つたり、白酒ならぬ甘酒やひし形ゼリー、お好みで雑あられを召し上がられました。ショートステイをご用頂いていた男性の方からは、「甘酒美味しいじで。本当の酒やつたらもっと良かつた」と笑顔で冗談も言いながら、楽しい時を過ごすことが出来ました。

ご利用者の笑顔がたくさん見られるよう、これからも努めていきたいと思います。



職員紹介

ご利用者のために 笑顔のために

介護副主任 渡辺 由佳



私は介護の仕事に就き8年になります。途中、結婚・出産のため介護の仕事から離れた時期もありますが、変わらずこの仕事にやりがいを感じています。



私にとって子ども・家庭が何よりも大切で、子供の笑顔や成長を目にすることが生きがいであり、支えになっています。育児を通して学ぶことも多くあり、若さで乗り切っていた頃とは違い、子どもたちを見守る目、思う心が私を成長させ介護に対する考え方や仕事に携わる姿勢を教えてくれました。

仕事をさせて頂くなかで、ご利用者に「寄り添うケア」を心掛けていますが、本当にご利用者に満足して頂けているのか、自分のケア方法についているのか不安になる時があります。ゆたか荘は私たち職員にとって「仕事をする場」「ご利用者にとっての「生活する場=家」です。ご利用者が満足して下さっているかどうかは数字として目に見えません。だからこそ考えることをやめない、自己満足にならない、偏らない目で、手で支えていかなければならぬと思います。

デイサービスセンター ゆたか

『元気のからくり教室』のご案内

健康!!地域活性化

デイサービスセンターゆたかではさぬき市介護予防教室の委託事業を平成29年4月より開始致します。運動機能・口腔機能の向上・認知症予防を組み合わせた複合プログラムの実施を通して生活機能の低下が疑われる軽度な状態での予防に取り組み、教室で学んだ正しい知識をセルフケアとして習慣化され継続できるよう取り組んでいきたいと思います。又、共に取り組む仲間ができ、介護予防の効果や地域との繋がりを切れ目なく感じ続けることができる地域づくりのお手伝いが出来ればと考えております。



【参加対象者】

- さぬき市にお住まいの65歳以上の方
- 介護保険制度のサービスや他の介護予防を利用していない方

【ご利用期間】

毎年4月から翌年3月（1年間）

【ご利用回数】

毎週1回（月～金の固定曜日でのご利用となります）

【開催場所】

デイサービスセンターゆたか内コミュニケーションルーム

【ご利用時間】

- しっかり一日コース：9:30～14:30（定員15名：先着順です）

8:40～ ご自宅へ お迎え	9:30～ 口腔体操・健康体操 ウエルカム喫茶 体調確認	12:00～ 昼食	13:00～ 入浴	14:30～ レクリエーション	14:30～ ご自宅へ お送り
----------------------	---------------------------------------	--------------	--------------	--------------------	-----------------------

*温かい昼食と大浴場での入浴をご希望の方は、しっかり一日コースをお選びください。

- しゃきしゃき半日コース：9:30～11:30（定員15名：先着順です）

8:40～ ご自宅へ お迎え	9:30～ 口腔体操・健康体操 ウエルカム喫茶 体調確認	11:30～ ご自宅へ お送り
----------------------	---------------------------------------	-----------------------

*健康体操のみをご希望の方はしゃきしゃき半日コースをお選びください。

*両コースとも送迎時間はご利用時間に含んでいません。

【参加費】

- しっかり一日コース：1回当たり1,600円（利用料・送迎・入浴・昼食付）
- しゃきしゃき半日コース：1回当たり600円（利用料・送迎）

お問い合わせ／デイサービスセンターゆたか ☎0879-23-6515 担当：石井・矢野

センター長 矢野 勝久

秋の遠足



女子

紅葉鮮やかな11月1日、女子寮はTATUTaの森とい

うキャンプ場へ行きました。3名の保護者様も参加して下さり、焼きそばやおにぎり、みそ汁を作りました。みんなで作った昼食はとても楽しくおいしかったです。ウォーキングでは「桃太郎」の寸劇から始まり小川流れる大自然の中、仲間を集めながら歩きました。ゆったりとした時間を過ごし気分転換出来ました。

秋晴れの空の下、緑に包まれ気持ちの良い時間を過ごしました。又、園内のレストランで頂いたランチもとても美味しく、楽しい秋の遠足となりました。

秋と言えば「食欲の秋」という事で、11月8日にホテルレオマの森のランチバイキングに行きました。利用者さんも保護者の皆さんも思い思いにバイキングを楽しみ、美味しい料理に皆さん大満足でした。バイキングの後は、さぬきごどもの国に場所を移し、飛行機を見たり、公園で遊んだりしました。食と自然を感じられる楽しい遠足になりました。

通所・就労

生活支援員 田中 歩

11月2日（水）、通所部は秋の遠足で徳島県立文化の森総合公園へ行つてきました。

近代美術館でベルギー近代美術の精華展と徳島藩絵師の絵画を観賞したり、博物館で化石や動植物の剥製、標本を見たりしました。普段あまり見ることのない芸術にふれ、芸術の秋を堪能できたのではないかと思います。

また、花杏豆というギャラリー兼食事処にも行き、各自に楽しむ姿も見られ、充実した一日となりました。

男子

春の遠足では動物園に行つて来た男子寮。今回は植物園に行つて来ました。

高知にある牧野植物園は、高知が生んだ「日本の植物分類学の父」牧野富太郎氏に因んで開園されたとても広い植物園です。お花は少ない季節ですが、秋晴れの空の下、緑に包まれ気持ちの良い時間を過ごしました。又、園内のレストランで頂いたランチもとても美味しく、楽しい秋の遠足となりました。



生活支援員 上原 麻莉

南

生活支援員 大風 誠司

秋と言えば「食欲の秋」という事で、11月8日にホテルレオマの森のランチバイキングに行きました。利用者さんも保護者の皆さんも思い思いにバイキングを楽しみ、美味しい料理に皆さん大満足でした。バイキングの後は、さぬきごどもの国に場所を移し、飛行機を見たり、公園で遊んだりしました。食と自然を感じられる楽しい遠足になりました。



卓球大会

生活支援員 多田 有希

12月26日、丸亀市民体育館で卓球大会が行われ、のぞみ園から2名の利用者が参加しました。2名とも惜しくも1回戦で敗れましたが、力いっぱい試合に臨み、最後まで粘り強く戦うことができました。大変充実した一日になりました。



生活支援員 松川 恵子



クリスマス会

街が素敵なイルミネーションで華やぐ12月。毎年恒例となりましたクリスマス会を、今年も開催いたしました。各寮による趣向を凝らした出し物、東様によるカラフルなバルーンアート披露、氏家さんの素敵なお手作りギター演奏と充実したプログラムで、皆さん大変楽しめていました。サンタさんによるプレゼント贈呈と、3種類から選べるクリスマスケーキに「嬉しいわあ」と喜ぶ声が響く楽しいクリスマス会になりました。



もちつき

12月23日、毎年恒例のもちつきをしました。さぬき警察署、恵生ノ園、ゆめほけつとの皆様、保護者の方々も参加して下さり盛大に行われ、杵を持って元気よくもちをついたり、できたもちを丸めたりしました。のぞみ園のもちつきは、地域の方々をご招待する大切な行事でもあり、新年を迎える準備を多くの方々と一緒にを行い、交流を深める良い機会となりました。



1月17日、通所川西さんの成人式を行いました。お化粧などを保護者の方にして頂き、式典では「これからも宜しくお願いします」と言葉を述べられました。練習なしで自然に出了言葉であり、感慨深かったです。
午後からは、調理実習で「20」をあしらったケーキ作りをして、改めてお祝いしました。素敵な成人女性となられ、嬉しく思います。

川西さん 成人式

生活支援員 浜崎 寛子



平成29年2月26日、「のぞみ園」で毎年恒例のひなまつり茶会がありました。天候にも恵まれ、多くの方々に来園して頂くことができました。利用者の方々の作品展示やお茶をたてるお手前披露など、日頃の園生活の成果を地域の方々に発表することが出来ました。この日は、たくさんの方々の笑顔あふれ、ご利用の方も「また来年のひなまつり茶会が待ち遠しい」といつておられました。

ひな祭り 茶会

生活支援員 岩田 俊輔

NPOクリエイト俱乐部
事務局長 兵頭 正洋

2016年12月22日、「あつ、サンタさんだ！」

「あつ、トナカイさんだ！」突然登場した我々の仮装姿を見て、驚きと喜びに満ちた子ども達の歓声が事業所内に響きました。

今回、我々が毎月開催している異業種交流会に出席して頂いている児童デイサービス事業所の山田邦浩さんとの出会いが縁で、仲間3人がクリスマス会のボランティア活動をさせて頂きました。

子ども達と一緒に、サンタクロースやトナカイの仮装姿のまま手品を見たり、おやつを食べたり、じょんけんゲームなどをして時間が経つのを忘れ、童心に返り、楽しく過ごさせて頂きました。

少しでも子ども達の心に、我々と過ごした時間が、クリスマス会の楽しい思い出として残れば幸いです。

また、我々も年末の忙ただしく仕事に追われる中で、今回のボランティア活動を通じて、逆に、子ども達から心安らぐ「喜びの笑顔」をクリスマスのプレゼントとして頂きました事を感謝しております。どうも有難うございました。

児童デイサービス事業所

子ども達から「喜びの笑顔」を
プレゼント！



新採用職員紹介

長尾福祉会では6名の新採用職員が仲間入りしました。ご利用者やご家族、地域の皆様から信頼される職員を目指し努力して参りますので、どうぞよろしくお願ひします。



ゆたか社
杉山 沙耶



ゆたか荘



龍井
首月



のぞみ
園



のぞみ園
多田那津未



生活支援センター
のぞみ

ご支援ありがとうございます

福祉サービス第三者評価を受審して

特別養護老人ホームゆたか荘 副施設長 新開正義

平成11年度・4

「**二者評価**」を3月に受審しました。

現行のサービスを評価項目に沿い自主評価をし、それに基づき第三者である評価調査者により評価をして頂きました。評価としては、書類の確認や職員への聴き取りによるもの、ご利用者に直接評価員が聞き取りを行うもの、ご家族に対し事前アンケート調査を行う等で実施していくきます。この受審を受けることで、改善すべき事項等が具体的に明確になりました。

施設をご利用されている方の更なるサービスの質の向上に繋げることはもとより、地域のニーズを把握し、地域に根付いたサービス提供が行えるよう努めて参ります」と答えていました。

車椅子を寄贈頂きました

介護保険施設のご利用が原則要介護3以上となる
り、施設をご利用している方々の心身の重度化が進
んでいます。そのこともあります、ご利用いただいてい
るご利用者の大半が車椅子を使用されています。
そんな中、この度「あいおいニッセイ同和損保株
式会社 MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ様」よ
り、株式会社スニー社製の車椅子をご利用者の健
康管理や日常生活の向上に向けた一助となるように
と寄贈を頂きました。

MS&ADゆにそんスマイルクリエイツは、グループ社員の皆さんの意図により、毎月給与から一〇〇円の任意口数を出し、寄付活動や社会貢献活動に役立てる目的で活動を実施しております。また、寄贈頂いた車椅子は世界最高峰パクトである「スリーリミー」で、使用目的に合わせて活用でき、ご利用者等の利便性の向上に役立てることが出来そうな品です。実際に試乗してみたところ、身体にフィットし、取り回しがしやすく、コンパクトなので居室でも場所を取りらないなど、日常生活における活動性の向上が期待できると感じました。

今後活用させて頂くことで、ご利用者の生活の質の向上に努めると共に、地域の福祉発展にも役立てて行きたいと考えております。ありがとうございました。



会報誌の記事をまとめながら行事等の様々なシーンが思い起こされる。そのなかには、新たな旅立ちをされている方もおり、寂しさもそこにはある。「楽しかった」だけではなく、「満足してもらえただろうか」「関わりは正しかったのだろうか」といった振り返りの機会にもなっている。

新しい年度を迎えたが、振り返った時に「恥ずかしいケア」とならないよう、先人達の教えを活かし、常に『気づき』『考え』『行動』していきたい。(ゆたか荘新聞)